学校番号	3005

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅡ	2	第３学年	PANORAMA ENGLISH COMMUNICATION 2（大修館書店） PANORAMA ENGLISH COMMUNICATION 2 WORKBOOK（大修館書店）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

① 英語コミュニケーションⅡでは、「読むこと」、「話すこと［やり取り］」、「話すこと［発表］」、「書くこと」といった言語活動を実践し、自分の考えを発信できるよう学習していきます。
② 外国語の知識・技能を養うだけでなく、英語から読み取った情報をどう解釈するかといった考える力を養っていきます。
③ 物事に対して自分の考えや意見を持ち、論理的に相手に伝える能力を養います。積極的に英語を使って自分の考えや意見を発表しようという意欲が必要です。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第 3 学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・駅や空港などの短いアナウンスなど自分に必要な情報をゆっくりはっきりと聞くことにより、理解することができる。 ・教科書の英文を聞き、重要な部分を把握できる。 ・英語による他者の発表のおおまかな内容が把握できる。	・簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や身近なトピックに関する短い文章を挿絵や写真を参考にしながら理解することができる。 ・英語コミュニケーションⅡ程度の英文を読み、概要を理解できる。 ・辞書を適切に使いながら、極力自力で文章の概要を理解できる。	・フレーズ単位で話すことができる。 ・簡単な語や表現を使って、お互いの意見交換(賛成か反対かどう思っているかなど)をすることができる。 ・英語らしい英単語の発音ができる。	・簡単な語や表現を使って、身近な話題に関して自分の意見を紹介することができる。 ・簡単な語や表現を用いて、自分の気持ちを表現することができる。 ・英語らしいリズムで話すことができる。	・身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容の要点を書くことができる。 ・50 語程度の英文を書くことができる。 ・第一学年で学習した基本的文法事項を使うことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	Lesson 6 Yusra Mardini	聞くこと	a: 前文の内容を受ける which, 独立分詞構文、時・条件の副詞節、前置詞＋関係代名詞を用いた文の構造を理解し、難民問題や難民としての体験について話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身につけている。 b: 聞いた内容について書いてまとめるために、難民問題や難民としての体験について話された内容の概要や要点を捉えている。 c: 聞いた内容について書いてまとめるために、難民問題や難民としての体験について話された内容の概要や要点を捉えようとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 前文の内容を受ける which, 独立分詞構文、時・条件の副詞節、前置詞＋関係代名詞を用いた文の構造を理解し、難民問題や難民としての体験について話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身につけている。 b: 読んだ内容について書いてまとめるために、難民問題や難民としての体験について書かれた文章の概要や要点を捉えている。 c: 読んだ内容について書いてまとめるために、難民問題や難民としての体験について書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 前文の内容を受ける which, 独立分詞構文、時・条件の副詞節、前置詞＋関係代名詞を用いた文の構造を理解し、難民問題や難民の置かれた状況などについて、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身につけている。 b: クラスメートにわかるように、読んだ実話の内容について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしている。 c: クラスメートにわかるように、読んだ実話の内容について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしようとしている。	スピーキング テスト
		話すこと （発表）	a: 前文の内容を受ける which, 独立分詞構文、時・条件の副詞節、前置詞＋関係代名詞を用いた文の構造を理解し、難民問題や難民の置かれた状況などについて、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝えたり、伝えたりする技能を身につけている。 b: クラスメートにわかるように、読んだ実話の内容について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝えたりしている。 c: クラスメートにわかるように、読んだ実話の内容について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝えようとしている。	スピーチ
		書くこと	a: 前文の内容を受ける which, 独立分詞構文、時・条件の副詞節、前置詞＋関係代名詞を用いた文の構造を理解し、世界で困っている人々や問題を抱えている国について、情報や考え、気持ちなどを、適切に書いて伝える技能を身につけている。 b: 読み手に理解してもらえるように、世界で困っている人々や問題を抱えている国について、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えている。 c: 読み手に理解してもらえるように、世界で困っている人々や問題を抱えている国について、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えようとしている。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson 7 Social Media and Communication	聞くこと	a: 付帯状況を表す with・I wish＋仮定法過去・部分否定・S＋V＋C（that 節）を用いた文の意味や働きを理解し、ソーシャルメディアやコミュニケーションに関する話題について話したり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身につけている。 b: 聞いた内容について書いてまとめるために、ソーシャルメディアやコミュニケーションについて書かれた文章の概要や要点を捉えている。 c: 聞いた内容について書いてまとめるために、ソーシャルメディアやコミュニケーションについて話された文章の概要や要点を捉えようとしている。	リスニングテスト

		読むこと	a：付帯状況を表す with・I wish＋仮定法過去・部分否定・S＋V＋C（that 節）を用いた文の意味や働きを理解し、ソーシャルメディアやコミュニケーションに関する話題について話したり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身につけている。 b: 読んだ内容について書いてまとめるために、ソーシャルメディアやコミュニケーションについて書かれた文章の概要や要点を捉えている。 c: 読んだ内容について書いてまとめるために、ソーシャルメディアやコミュニケーションについて書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 付帯状況を表す with・I wish＋仮定法過去・部分否定・S＋V＋C（that 節）を用いた文の構造を理解し、ソーシャルメディアやコミュニケーションに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身につけている。 b: クラスメートにわかるように、ソーシャルメディアやコミュニケーションに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしている。 c: クラスメートにわかるように、ソーシャルメディアやコミュニケーションに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしようとしている。	スピーキング テスト
		話すこと （発表）	a: 付帯状況を表す with・I wish＋仮定法過去・部分否定・S＋V＋C（that 節）を用いた文の構造を理解し、ソーシャルメディアやコミュニケーションに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝えたり、伝えたりする技能を身につけている。 b: クラスメートにわかるように、ソーシャルメディアやコミュニケーションに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝えたりしている。 c: クラスメートにわかるように、ソーシャルメディアやコミュニケーションに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝えたり、伝えようとしている。	スピーチ
		書くこと	a: 付帯状況を表す with・I wish＋仮定法過去・部分否定・S＋V＋C（that 節）を用いた文の構造を理解し、ソーシャルメディアやコミュニケーションに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、適切に書いて伝える技能を身につけている。 b: 読み手に理解してもらえるように、ソーシャルメディアやコミュニケーションについて情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えている。 c: 読み手に理解してもらえるように、ソーシャルメディアやコミュニケーションについて情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えようとしている。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	期末考査			
後期	Lesson 8 People and Robots	聞くこと	a: suggest に続く that 節・動名詞の意味上の主語・if 節に代わる表現・未来完了形を用いた文の意味や働きを理解し、人間とロボットの関係について話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身につけている。 b: 聞いた内容について書いてまとめるために、睡眠に関連する話題について話された文章の概要や要点を捉えている。 c: 聞いた内容について書いてまとめるために、人間とロボットの関係について話された文章の概要や要点を捉えようとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a: suggest に続く that 節・動名詞の意味上の主語・if 節に代わる表現・未来完了形を用いた文の構造を理解し、人間とロボットの関係について、情報や考え、気持ちなどを、適切に書いて伝える技能を身につけている。 b: 読んだ内容について書いてまとめるために、人間とロボットの関係について書かれた文章の概要や要点を捉えている。 c: 読んだ内容について書いてまとめるために、人間とロボットの関係について書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）

		話すこと (やり取り)	a: suggest に続く that 節・動名詞の意味上の主語・if 節に代わる表現・未来完了形を用いた文の構造を理解し、人間とロボットの関係について、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身につけている。 b: クラスメートにわかるように、人間とロボットの関係について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしている。 c: クラスメートにわかるように、人間とロボットの関係について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしようとしている。	スピーキング テスト
		話すこと (発表)	a: suggest に続く that 節・動名詞の意味上の主語・if 節に代わる表現・未来完了形を用いた文の構造を理解し、人間とロボットの関係について、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝えたり、伝えたりする技能を身につけている。 b: クラスメートにわかるように、人間とロボットの関係について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝えたりしている。 c: クラスメートにわかるように、人間とロボットの関係について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝えたり、伝えようとしている。	スピーチ
		書くこと	a: suggest に続く that 節・動名詞の意味上の主語・if 節に代わる表現・未来完了形を用いた文の構造を理解し、人間とロボットの関係について、情報や考え、気持ちなどを、適切に書いて伝える技能を身につけている。 b: 読み手に理解してもらえるように、人間とロボットの関係について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えている。 c: 読み手に理解してもらえるように、人間とロボットの関係について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えようとしている。	ライティング課題 定期考査 (ライティング)
	Lesson 9 All about Zoos	聞くこと	a: 完了不定詞・同格の that 節・省略・完了形の分詞構文を用いた文の意味や働きを理解し、動物園や動物保護について話したり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身につけている。 b: 聞いた内容について書いてまとめるために、動物園や動物保護について話された文章の概要や要点を捉えている。 c: 聞いた内容について書いてまとめるために、動物園や動物保護について話された文章の概要や要点を捉えようとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 完了不定詞・同格の that 節・省略・完了形の分詞構文を用いた文の意味や働きを理解し、動物園や動物保護について話したり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身につけている。 b: 読んだ内容について書いてまとめるために、動物園や動物保護について書かれた文章の概要や要点を捉えている。 c: 読んだ内容について書いてまとめるために、動物園や動物保護について書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。	定期考査 (リーディング)
		話すこと (やり取り)	a: 完了不定詞・同格の that 節・省略・完了形の分詞構文を用いた文の意味や働きを理解し、動物園や動物保護に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身につけている。 b: クラスメートにわかるように、動物園や動物保護に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしている。 c: クラスメートにわかるように、動物園や動物保護に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしようとしている。	スピーキング テスト
		話すこと (発表)	a: 完了不定詞・同格の that 節・省略・完了形の分詞構文を用いた文の意味や働きを理解し、動物園や動物保護に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝えたり、伝えたりする技能を身につけている。 b: クラスメートにわかるように、動物園や動物保護に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝えたりしている。 c: クラスメートにわかるように、動物園や動物保護に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝えたり、伝えようとしている。	スピーチ

		書くこと	a: 完了不定詞・同格の that 節・省略・完了形の分詞構文を用いた文の意味や働きを理解し、動物園や動物保護に関する話題、情報や考え、気持ちなどを、適切に書いて伝える技能を身につけている。 b: 読み手に理解してもらえるように、動物やペットについて考えていることについて情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えている。 c: 読み手に理解してもらえるように、動物やペットについて考えていることについて情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えようとしている。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson 10 No One Is Too Small to Make a Difference	聞くこと	a: 強調構文・as if＋仮定法・倒置・be＋to 不定詞を用いた文の構造を理解し、環境問題について話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身につけている。 b: 聞いた内容について書いてまとめるために、環境問題について話された文章の概要や要点を捉えている。 c: 聞いた内容について書いてまとめるために、環境保護について話された文章の概要や要点を捉えようとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 強調構文・as if＋仮定法・倒置・be＋to 不定詞を用いた文の構造を理解し、環境問題について話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身につけている。 b: 読んだ内容について書いてまとめるために、環境問題について書かれた文章の概要や要点を捉えている。 c: 読んだ内容について書いてまとめるために、環境保護について書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 強調構文・as if＋仮定法・倒置・be＋to 不定詞を用いた文の構造を理解し、環境問題に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身につけている。 b: クラスメートにわかるように、環境問題に関する話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしている。 c: クラスメートにわかるように、環境保護に関する話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えようとしている。	スピーキング テスト
		話すこと （発表）	a: 強調構文・as if＋仮定法・倒置・be＋to 不定詞を用いた文の構造を理解し、環境問題に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝えたり、伝えたりする技能を身につけている。 b: クラスメートにわかるように、環境問題に関する話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝えたりしている。 c: クラスメートにわかるように、環境保護に関する話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝えたり、伝えようとしている。	スピーチ
		書くこと	a: 強調構文・as if＋仮定法・倒置・be＋to 不定詞を用いた文の構造を理解し、環境問題に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、適切に書いて伝える技能を身につけている。 b: 読み手に理解してもらえるように、環境問題に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えている。 c: 読み手に理解してもらえるように、環境保護に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えようとしている。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度